

## 物質循環社会の構築におけるバイオマスの利用と課題

### Biomass in coming sustainable society

# 水谷 広 [1]

# Hiroshi Mizutani[1]

[1] 日大・生物資源科学

[1] BRS, Nihon U.

物質循環の視点から見ると、ヒトは他の生物とは全く異なる行動をしている。

それは言うまでもなく、ヒトのヒトとしての存在意義でもあるが、同時に、有限な物質系である地球システムの中では不安定なものであり、長期の持続可能性が全くない行動である。

その一つの証左が、今日の地球環境問題である。

この状況は、古くから一部では認識されていた。しかし、人間社会がこの問題をその深刻度に相応しいだけの真剣さで取り組んでいるとは未だに言えない。

生物学的な適正規模を遙かに超えた個体数で今も地球システムへの負荷を増大させ続けている人類が、間もなく直面する有限性の現実を少しでも緩和するには、生物界における動物が従っているルールを尊重し、そこにこれまでに培った科学技術を適用したバイオマスの高度な利用を進めることが求められよう。

本講演では、生物圏における物質循環の枠組みを基礎とした人間社会をつくりあげるための様々な課題の中から、バイオマスに関連するものを中心に取り上げて、その課題を整理する。